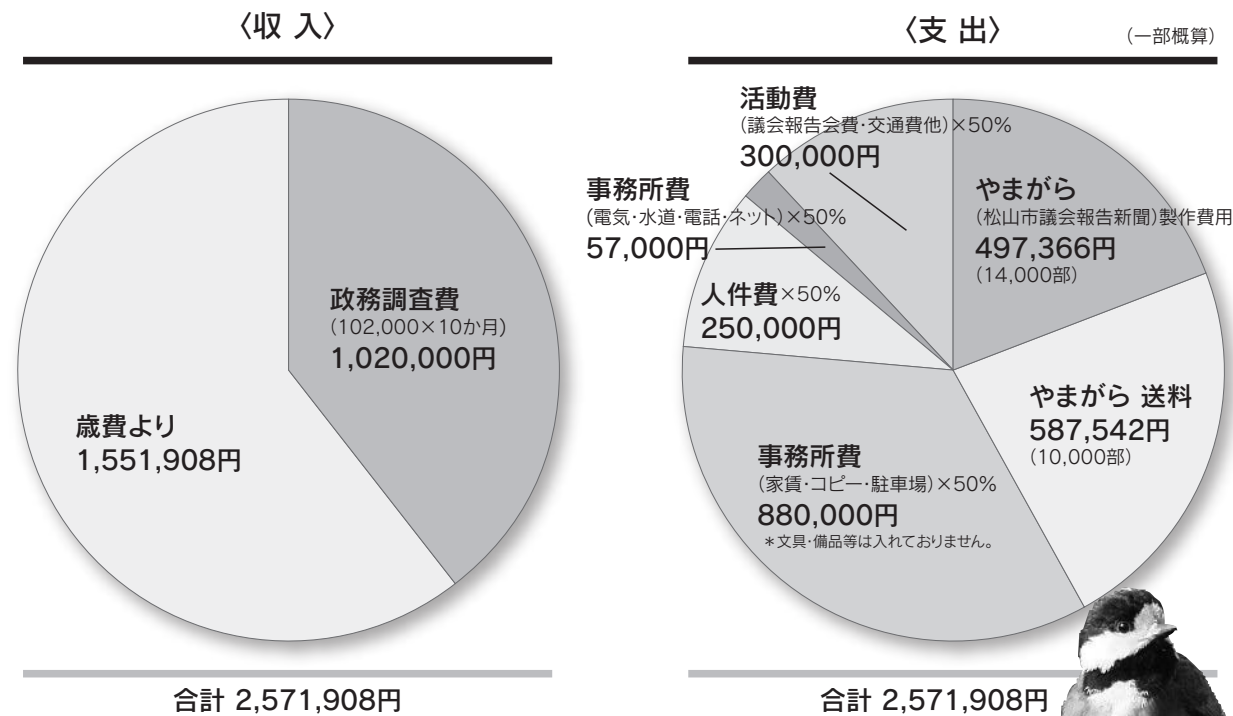


＜梶原時義の2010年度政務調査費収支報告＞



収支は一部50%換算でも1,551,908円の赤字でした。
2年目は切り詰めを行いながらも今以上に活動報告を出せるように工夫していきます。

※議員の活動について政務調査活動と一般的な議員活動を区別する事が困難であるという規定から、一部50%按分しています。



やまがらQ&A

梶原ときよし市議会通信「やまがら」の名称の意味は何ですか？

A 「やまがら」は野鳥の名前です。毎年冬になると我が家の庭にはたくさんの野鳥がやって来ます。冬場から春にかけては毎朝、メジロ、シジュウカラ、キジバト、スズメ、ヒヨドリ、そして何匹もの「やまがら」がやって来ます。時には、ツグミ、ウグイスが地を這い餌をついばみ、コゲラがキツツキのようにスモモの木に音をたてます。

私の朝一番の仕事は、リビングのカーテンを開け、出窓から鳥たちのためにみかんとピーナッツを餌台に置いてやることから始まります。鳥インフルエンザが騒がれ始める数年前までは、手のひらにあるピーナッツを「やまがら」が取りに来るのが毎日の光景でした。

妻が洗濯物を干していてもチーチーと餌をせがみ、手に乗ってピーナッツをくわえるやまがらは、私たちに「手の指先をつかまれる快感と癒しの時間」を与えてくれました。最近ではキジバトとヒヨドリの睨みあい、やまがら・シジュウカラ・スズメの主導権争いのほか、ヒヨドリが他の鳥たちを追いつらうシーンが毎朝繰り返されていて、見ていて飽きることはありません。

何となく我が家の庭の自然のアルバムを、披露したようになりましたが、「梶原ときよし松山市議会通信」も「やまがら」のように市民の身近で大衆的な存在として愛されることを願い命名しました。

(ちなみに我家は湯の山にあり、庭の広さは36㎡程度ですが、雑木と果樹で四季が楽しめます)

いよかんや夏柑でマーマレードを作りませんか。

皮:実:砂糖=1:2:1.5

- 1) 皮を刻み、ゆでこぼし、押して苦味をとります。(2回)
- 2) ほぐした実を鍋底に入れ、皮を足して煮ます。
- 3) 砂糖は2～3回に分けて入れます。
- 4) 少しゆるいくらいで火を止めます。
- 5) 蒸気消毒したビン(ふた、スプーンも)に熱いうちに入れます。

※冷蔵庫で1年持ちます。

梶原ときよしの活動予定や市議会のスケジュールはHPでご確認頂けます。

ホームページ **梶原ときよし** 検索 <http://tokiyoshi.sakura.ne.jp>

「スケジュール」に行動予定と感想を入れていますのでクリックしてください。

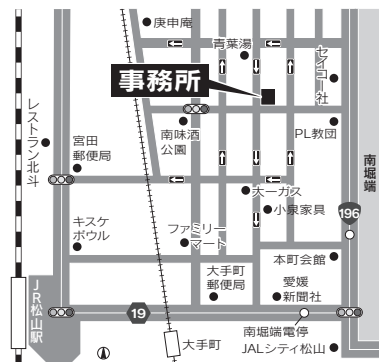
梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586

自宅/松山市湯の山4丁目1-5
TEL・FAX/977-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで(当面)
●土・日・祝日はお休みです。 **P** あります。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



(JR松山駅より徒歩8分、西端端電停より徒歩4分)

梶原ときよし

松山市議会通信

発行・梶原ときよし事務所



やまがら

春号
2011年



3月11日に発生した東日本大震災により、多くの方の尊い命が失われたことに

深い哀悼の意を捧げます。同時に被災された皆様とご家族に対し、

心よりお見舞い申し上げますとともに、

福島原発からの放射性物質がこれ以上広がらないよう念願しています。

私の方は、昨年の6月議会から始まり、9月・12月・そして今年2011年度の

3月予算編成議会と1年4回の定例会を経験してまいりました。

この間、4度の一般質問と尖閣問題強硬論意見書に対する反対討論、

東日本大震災の

一日も早い復興を祈ります。

3月議会では箱モノ公共工事中心の予算提案を、「市民生活優先」へ切り替えるよう

部分的に反対する討論を行い、さらに、この度の大震災を受け、

伊方原発周辺住民はもちろん、原発から60キロしか離れていない

松山市民の命を守るために、「伊方原発を停止させ、

緊急に耐震評価の再検証と総点検を求める意見書」の提案理由説明を行いました。

新人である私(梶原)の計7回の登壇は、少なからず松山市議会活性化に

大きな刺激を与えたものと確信しています。

梶原ときよし松山市議会通信「やまがら」春号が完成しました。

皆様で、「一読頂けましたら幸いです。

2011年3月18日議会での意見書 提案説明

今回の地震で震度7を確認した宮城県内では、29.93ガルの最大加速度が確認されており、愛媛県や四国電力が伊方原発の安全基準としている耐震基準地振動570ガルがいくかに低すぎるかが露呈されています。

伊方原発の沖合にある海底活断層も活動期にあり、今回の巨大地震に誘発され日本沿岸に想定されている東海・東南海・南海の巨大地震の発生が早まることも警告されている中、緊急に伊方原発をいったん停止させて、住民が納得のいく耐震評価の再検証と総点検を行わなければなりません。

3月15日にEUIOPパ共同会は、福島原発の爆発事故を受け地域内14カ国143基の原発の一斉安全点検を開始することを決定しました。またその日の内にドイツでは国内にある17基の原発の内、1080年以内に稼働し老朽化した可能性のある7基について、運転を3ヶ月間停止し安全点検を行うと発表しています。

1977年に稼働を始めた老朽化した可能性が大きい伊方原発は明らかに緊急点検が必要といわざるを得ません。よって国においては、伊方原発周辺住民はもちろん、60キロしか離れていない松山市民の安心と安全を守るために県と四国電力に対しとりあえず伊方原発を停止させて総点検を実施するように指導していただくことを強く要請します。

伊方原発を停止させ、緊急に総点検の実施を!!

ネットワーク市民の窓 梶原時義

このたびの大震災で被害を受けた方々に、心からお見舞いを申し上げます。げんじけられた方々には衷心より哀悼の意を表します。また今なお安否の不明な方々が、一刻も早く救出されることをお祈りいたしますとともに、原発からの放射性物質の拡散被害がこれ以上広がらない事を念願して説明に入ります。

3月11日マグニチュード9.0という日本観測史上最大の東日本大震災が発生し、東北から関東にかけて広範囲に激甚な被害をもたらしました。死者5,000人以上、行方不明者は10,000人を超え、さらには町ごと住宅が津波にさらわれる等、自然災害の恐ろしさは日本中を震撼させました。

特に福島原発で起きた炉心溶融事故と水素爆発は、放射性物質の大気への放出と拡散という恐怖と不安を、世界中の人々に与えています。想定外だったという国・県・電力会社の責任逃れの発表は、私たち市民の命よりも国策を優先したもので絶対に許されません。明らかに人災です。私達は、地震列島の海岸線に54基もの原発を林立させていることの愚かさを、今こそ悟るべきだと思います。

今回の地震で震度7を確認した宮城県内では、29.93ガルの最大加速度が確認されており、愛媛県や四国電力が伊方原発の安全基準としている耐震基準地振動570ガルがいくかに低すぎるかが露呈されています。

伊方原発の沖合にある海底活断層も活動期にあり、今回の巨大地震に誘発され日本沿岸に想定されている東海・東南海・南海の巨大地震の発生が早まることも警告されている中、緊急に伊方原発をいったん停止させて、住民が納得のいく耐震評価の再検証と総点検を行わなければなりません。

3月15日にEUIOPパ共同会は、福島原発の爆発事故を受け地域内14カ国143基の原発の一斉安全点検を開始することを決定しました。またその日の内にドイツでは国内にある17基の原発の内、1080年以内に稼働し老朽化した可能性のある7基について、運転を3ヶ月間停止し安全点検を行うと発表しています。

1977年に稼働を始めた老朽化した可能性が大きい伊方原発は明らかに緊急点検が必要といわざるを得ません。よって国においては、伊方原発周辺住民はもちろん、60キロしか離れていない松山市民の安心と安全を守るために県と四国電力に対しとりあえず伊方原発を停止させて総点検を実施するように指導していただくことを強く要請します。

原し
ときよし

議会質問

3月議会一般質問より抜粋 2011年3月8日

野志市長の所信について

野志市長 答弁

市長は常々、二人でも多くの市民を笑顔に」とおっしゃられており、大変素晴らしいキャッチフレーズであり、大切な事だと私も思っています。

しかし、残念ながら、市長の所信には、公務員のバイブルでもある、日本国憲法の精神や原則が充分に表現されていないような気がします。

日本国憲法は、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を基本原則として、国や地方の行なうべき役割や行なうてはならない事を規定しています。が所信にはこの三原則が示されていません。政策を行なう上で必ず表現すべきと考えますが、ご答弁下さい。

憲法99条には「公務員は憲法を尊重し、擁護する義務を負う」と書いてあります。

公務員に対し憲法を守る義務を課して国家権力による人権の制限に対し歯止めをかけているとされていますが、この事について市長はどう考えられているか、教えて下さい。

私は所信の中で日本国憲法の3原則について、はつきりと表現しているわけではございません。しかしながら表現がないからといって、この3原則をないがしろにしている、などということはありません。

小中学校のいじめ問題の解決について

教育長の所信では、いじめ問題の対応について、年1回各校の代表者が話し合う「いじめゼロミーティング」開催や支援センターによる「いのちを守る相談活動等」を実施し、いじめの根絶を目指します」としていますが、この程度の対処療法で認

知件数だけでも年間350件以上もあるいじめがなくなることは到底思えません。教育的視点の欠如は否めない気がしますが、お答えください。

教育長、学校における「いじめの構図」をご存知でしょうか。

クラスでいじめが発生した時、そのクラスには「いじめをする生徒」と「いじめられる生徒」、そして「直接当事者ではない大多数の生徒」が存在します。いじめの解決は、この大多数の生徒がどう動くのかにかかっています。

つまりいじめが起きた時、どちらの側に立つのか自分の立場の決断を迫られる事になるのです。自分もいじめられたら困るので「いじめられる側」につくか、関わりと面倒なので見て見ぬふりをして「いじめを容認するの、あるいは恐くてもいじめを止めるよう注意するなどの行動で「いじめられた生徒の側」に立つのか。ここにいじめ

をなくす最大のポイントがあると思います。

いじめが無くならない多くの場合は、当事者でなかった生徒が「いじめられる側」ついたり、消極的とはいえないいじめを容認することで「いじめられる側」に立つからに他なりません。大切な事は人として互いに認め合

い助け合う勇氣を、人権教育を通して育てていく事ではないでしょうか。

いじめや差別をなくす事は、命を大切にすることです。いじめを無くすための基本は人権教育にあります。

子供達どうしが、互いに人として認めあう事の大切さを学び、いじめや差別を見抜く力を身に付け、それを許さない視点をもつ生徒をたくさんつくる事が、この問題を解決する上で最も重要な事だと思いますが、教育長の所見をお願いします。

山内教育長 答弁

小中学校のいじめ問題

いじめ問題については、様々な独自の対策を盛り込んだ「いじめ対策総

米軍機の低空飛行事件

個人情報警察への無断提供

高齢者の市内電車・バスフリーの無料化について

業、「東京都のシルバーパス交付事業から学び、高齢者の電車、バス、フリー無料化事業の研究に着手すべき時が来ていると思います。

まず

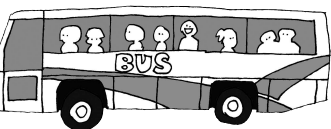
は乗り込み調査・研究費だけでも予算

化すべきではないかという市民の強い要求を代弁して私の質問とさせていただきます。

田中社会福祉担当部長 答弁

高齢者の電車等の無料化事業の研究については、実施しな

いと結論に至っており、調査、研究費についても予算化する考えはありません。



2011年度予算案に対する一部反対討論

野志市長の公約、タウンミーティングについて

「市民との直接対話を通じて地域の魅力や課題を明らかにし、お互いの理解や連携を深めるためにタウンミーティングを実施して市民と行政の協働による町づくり推進を目指します。」とあります。

民間サラリーマン出身で、政治のプロではなかった野志市長にとりましては、本当に素晴らしい事だと、私も応援しています。

しかし、残念な事に、1時間半のタウンミーティングの司会進行に、1回8万円、年間で96万円もの司会者への謝礼予算が組まれています。本市職員がすれば、全く不要です。市民目線として考えなおしていただきたいと思います。

戸籍・住民票基本台帳費の person 費等（約1,000万円の無駄遣い）について

市民部が市民の委任状もなく無断で市民の戸籍や除籍の謄本・抄本を、犯罪捜査協力の為として、一年間で約一万件（推定で2万人から5万人分）もの個人情報を警察に提出している件です。

警察からは「捜査関係事項照会書」で該当者存在の有無などの報告が求められますが、警察庁自身の内部通達で「本書では謄本などの提出を求めることは出来ない」としているにもかかわらず本市が積極的に提出していることは、事務的にも不要な仕事を職員にさせており即刻中止すべきです。

この件につきましては、今議会でも追及してきましたが、明らかに本市の個人情報保護法や憲法にある市民の幸福追求権に違反しますので認めることは出来ません。

松山外環状線関連について

外環状線は渋滞緩和を目的とした高規格道路ですが、車の通行台数は年々減少傾向にあり、必要性が薄れています。指標となる朝生田交差点での1日の交通量は、2002年では61,553台、2009年では55,105台、7年間で6,448台減少しています。今後確実に人口減少、超高齢化社会に向かう中、巨費を投じて高規格道路を造るのではなく、将来に対応できる公共交通の充実を図ることを優先すべきと考えます。

JR松山駅周辺整備事業について

これらにつきましても、長さ2.4キロもの高架橋計画をするなど、借金で巨費を投じるバブル時代の遺物ともいえる計画に他なりません。時代のニーズに合ったコンパクトなものにすべきです。

新規水源開発準備事業という名の無駄な公共事業について

この費用は、黒瀬ダムからの分水を目的とした新規水源開発のために使われるものです。西条市、新居浜市、松山市が加茂川の水について科学的な協議をこれから始めるのでは、松山市民は渇水対策になかなかたどり着けません。

この先の人口減少から考えても48,000トンもの水を恒常的に求める必要はなく、黒瀬ダムからの分水計画から脱却し、一日も早く身近な場所での渇水対策を行なうことが重要と考えます。

新西クリーンセンター整備・運営事業（87億7,113万2千円）について

2009年度の本市の可燃ごみは約13万トン、過去5年間で見ると4万2,000トンも減少しています。

しかしながら、建設中の新西クリーンセンターの処理能力は11万7千トンですから、築18年の南クリーンセンターの処理能力84,000トンとあわせれば、20万トンの焼却能力を持つ事になります。

市民のゴミ減量努力とはうらはらに、7万トンものゴミ焼却余剰能力のできる新西クリーンセンター建設は、明らかに規模が大きすぎ、税金の無駄遣いで賛成する事はできません。

